

学校業務改善 推進校 実施計画書

学校名 淡路市立北淡小学校

校長名 小川 善久

学級数	8学級	児童生徒数	144名
プロジェクトチームのメンバー構成	校長、教頭、主幹教諭、事務職員の合計5名		
1. 学校業務改善に係る自校の課題等			
<p>朝の職員打合せをできるだけ省き、始業前に教室にいる時間を確保したい。 (会議は最大2時間までに終了しているが)職員会議に要する時間が長い。 学校統合による職員数の増加で更に職員室が狭くなり、書類や資料等を整理する書庫が置けない。職員が自由に使える場所も机と小さな戸棚のみで、書類等が整理しにくい。 教材室が非常に狭く教材・教具が詰め込まれた状態で整理整頓ができにくいいため、有効活用ができていない面がある。 指導要録や通知簿が電子化されていないので、手作業に時間がかかる。 行事の打合せや準備に時間がかかる。 共有HDの使用によって各種文書、ファイルの共有化と効果的な活用を進めてきたが、利便性を高めるためのさらなる改善が望まれる。</p>			
2. 「学校業務改善実践事例集」等に基づく、課題解決のための取組項目(該当するものに)			
	(1) 学校ルールブックの作成		
	(2) 電子ファイルの共有		
	(3) 児童生徒データベースの作成		
	(4) 出席統計作成ファイルの作成		
	(5) トライやる・ウィーク関連資料の支援ファイルの作成		
	(6) 校務・業務の効率化やIT化		
	(7) 学校事務の改善について		
	(8) 研修・会議等の効率化		
	(9) 学校行事・事業の見直し・廃止について		
	(10) 部活動のあり方について		
	(11) 外部人材等の活用について		
	(12) 勤務環境について		
	(13) その他()		
3. 上記、課題解決のための具体的な取組内容と工夫する点			
<p>1 昨年度、校内LANを使ったグループウェアの推進に取りかかったが、今年度はグループウェアを活用した情報伝達、共有を更に進める。市教委からの各種文書も電子媒体のまま伝達する。これにより、連絡や意見集約のための時間が短縮を図る。また、紙媒体での配布が減るので、文書整理が進む。更に、会議の提案文書や資料を事前に配信することによって、会議の効率化を図る。</p> <p>2 共有HDについては、フォルダ体系を再構築するとともに、校務分掌のデータを整理して利便性を高める。教具や備品についても共有HDでデータ管理を行い、有効活用を図る。行事については、今年度のデータを活かし、計画的な準備ができるよう、役割分担や工程を明らかにしていく。</p> <p>3 校務文書のデジタル化を促進することによって事務の電子化・システム化を図る。指導要録や通知簿は、市教委の指導の下、電子化を図る。 また、昨年度の課題を踏まえ、ルールブックを改善する。</p>			

上記(1)~(5)は「学校業務改善実践事例集」(6)~(12)は「教職員の勤務時間適正化対策プラン」の項目「学級数」及び「児童生徒数」は、平成23年4月1日現在。